

2026年5月8日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 P R I S M B i o L a b  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 竹 原 大  
(コード番号：206A 東証グロース市場)  
問 合 せ 先 管 理 部 マ ネ ー ジ ャ ー 安 藤 幸 司  
(TEL. 0466-53-8383)

## PepMetrics®技術ライブラリー化合物群の米国における特許査定のお知らせ

本日、当社は、PepMetrics®技術ライブラリー化合物群の米国における特許査定の連絡を受けましたので、以下のとおりお知らせいたします。

### 【特許概要】

出願番号： 18/014, 556

発明の名称： NOVEL HETEROCYCLIC COMPOUNDS

### 【特許取得の意義】

当社は、基盤技術である「PepMetrics 技術」により、ペプチド骨格を模倣できる化合物群を合成し、薬理評価を実施しています。

今回の特許査定は、当社が2025年6月9日に開示した「PRISM BioLab、PepMetrics®技術ライブラリー化合物特許取得のお知らせ」の、当社ライブラリー化合物群を対象とした新たな分子骨格に基づくものです。

本特許はこれまで米国で審査中でありましたが、今回の特許査定により、日本に続き、米国においても当社が保有する知的財産権が強化されることとなりました。

当社は今後も引き続き、海外主要国における特許取得を進め、更なる事業発展を実現して参ります。

なお、本特許査定による、2026年12月期（2025年10月1日～2026年9月30日）の当社業績への影響はありません。今回の特許査定で米国における権利を確保することで、当社の化合物空間の独占性・排他性を高めることが期待され、中長期的に当社の企業価値の向上に寄与するものと考えています。

以 上

#### 【特許査定について】

各国特許庁の審査によって「特許権を与える価値がある出願発明である」と判断された場合に示される評価です。特許査定後に特許料を納付することによって、登録特許となり、該当する国において特許権が発生することになります。

#### 【株式会社 PRISM BioLab について】

当社は、独自に開発した  $\alpha$ -ヘリックス・ $\beta$ -ターン模倣技術を活用して、低分子化合物によるタンパク質-タンパク質相互作用（PPI）を制御する新薬を創り出す企業です。当社は、従来困難であった細胞内で様々な信号を伝達する PPI を制御する独自のペプチド模倣技術である『PepMetrics®』を構築し、ガンや線維症分野の臨床パイプラインを創出するとともに、国内外の多数の大手製薬会社と提携してこれまでに無い難病治療薬の創出に取り組んでいます。

詳しくは、当社ウェブサイト (<https://prismbiolab.com/ja/>) をご覧ください。